

外国法学教科书精品译丛

# 刑法各论讲义

(第4版)

[日]松宫孝明 著  
王昭武 张小宁 译

非外借

 中国人民大学出版社



# 刑法各论讲义

(第4版)

[日]松宫孝明 著  
王昭武 张小宁 译

中国人民大学出版社

· 北京 ·

图书在版编目 (CIP) 数据

刑法各论讲义：第4版/(日)松宫孝明著；王昭武，张小宁译。—北京：中国人民大学出版社，2018.9

(外国法学教科书精品译丛)

ISBN 978-7-300-26129-4

I. ①刑… II. ①松… ②王… ③张… III. ①刑法-研究-日本 IV. ①D931.34

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2018) 第 191130 号

刑法各論講義 (第四版)

松宮孝明

Copyright © 2016 by 成文堂

Chinese Simplified translation copyright © 2018 by China Renmin University Press Co., Ltd.

All Rights Reserved.

外国法学教科书精品译丛

刑法各论讲义 (第4版)

[日] 松宫孝明 著

王昭武 张小宁 译

Xingfa Gelun Jiangyi

---

出版发行 中国人民大学出版社

社 址 北京中关村大街31号

邮政编码 100080

电 话 010-62511242 (总编室)

010-62511770 (质管部)

010-82501766 (邮购部)

010-62514148 (门市部)

010-62515195 (发行公司)

010-62515275 (盗版举报)

网 址 <http://www.crup.com.cn>

<http://www.ttrnet.com> (人大教研网)

经 销 新华书店

印 刷 北京东君印刷有限公司

规 格 185 mm×260 mm 16 开本

版 次 2018年9月第1版

印 张 27.5 插页2

印 次 2018年9月第1次印刷

字 数 580 000

定 价 88.00 元

---

版权所有 侵权必究

印装差错 负责调换

外国法学教科书精品译丛



# 文献略语

## 说明

本书采用下述略语。

“⇒”是指“参见”。

“大判明治 42·10·19 刑录 15—1420”，是指大审院的明治 42 年 10 月 19 日的判决，判决书刊登于大审院刑事判决录第 15 辑 1420 页。

“最大判昭和 48·4·4 刑集 27—3—265”，是指最高裁判所的昭和 48 年 4 月 4 日的大法庭判决，判决书刊登在最高裁判所刑事判例集第 27 卷第 3 号第 265 页。

至于判例集与具体参考文献，采用下述略语。

## 一、判例集

刑 录	《大审院刑事判决全录》
刑 集	《大审院刑事判例集》《最高裁判所刑事判例集》
裁 集 刑	《最高裁判所裁判集（刑事）》
裁 时	《裁判所时报》
高 刑 集	《高等裁判所刑事判例集》
高 刑 速	《高等裁判所刑事裁判速报集》
裁 特	《高等裁判所刑事裁判特报》
判 特	《高等裁判所刑事判决特报》
东高时报	《东京高等裁判所（刑事）判决时报》
下 刑 集	《下级裁判所刑事裁判例集》
刑 月	《刑事裁判月报》
评论全集	《法律评论全集》

判 时	《判例時報》
判 夕	《判例タイムズ》
新 闻	《法律新聞》

## 二、立法资料

仓 富 等	仓富勇等编、松尾浩也增补解题：《增補刑法沿革總覽》，（信山社・1990年）
田中・释义下	田中正身：《改正刑法釋義・下卷》，（信山社・1994年）

## 三、教科书、解说书

总论	松宫孝明『刑法總論講義〔第4版〕』（成文堂・2009年）
浅田等・各论	浅田和茂＝齐藤豊治＝佐久間修＝松宫孝明＝山中敬一『刑法各論〔補正版〕』（青林書院・2000年）
井田・各论	井田 良『刑法各論〔第2版〕』（弘文堂・2013年）
伊东・各论	伊東研祐『刑法各論講義』（日本評論社・2011年）
植松・各论	植松 正『再訂刑法概論Ⅱ各論』（勁草書房・1975年）
内田・各论	内田文昭『刑法各論〔第3版〕』（青林書院・1996年）
大塚・各论	大塚 仁『刑法概説（各論）〔第3版増補版〕』（有斐閣・2005年）
大谷・各论	大谷 實『刑法講義各論〔新版第4版〕』（成文堂・2015年）
小野・各论	小野清一郎『新訂刑法講義各論〔第3版〕』（有斐閣・1949年）
川端・各论	川端 博『刑法各論講義〔第2版〕』（成文堂・2010年）
吉川・各论	吉川経夫『刑法各論』（法律文化社・1982年）
木村・各论	木村亀二『刑法各論』（法文社・1957年）
小暮等・各论	小暮得雄ほか編『刑法講義各論』（有斐閣・1988年）
齐藤（信）・各论	斎藤信治『刑法各論〔第4版〕』（有斐閣・2014年）
齐藤（诚）・各论	齐藤誠二『刑法講義各論Ⅰ』（多賀出版・1978年）
佐伯・总论	佐伯千仞『四訂刑法講義（總論）』（有斐閣・1981年）
佐伯・各论	佐伯千仞『刑法各論〔訂正版〕』（有信堂・1981年）
佐久间・各论	佐久間修『刑法各論』（成文堂・2006年）
須之内・各论	須之内克彦『刑法概説各論』（成文堂・2011年）
曾根・各论	曾根威彦『刑法各論〔第5版〕』（弘文堂・2012年）
瀧川・各论	瀧川幸辰『刑法各論』（世界思想社・1951年）
团藤・各论	团藤重光『刑法綱要各論〔第3版〕』（創文社・1990年）
中・各论	中 義勝『刑法各論』（有斐閣・1975年）
中森・各论	中森喜彦『刑法各論〔第4版〕』（有斐閣・2015年）
中山・概説	中山研一『刑法概説Ⅱ〔第4版〕』（成文堂・2005年）
中山・各论	中山研一『刑法各論』（成文堂・1984年）

- 中山・口述各論 中山研一『新版口述刑法各論〔補訂2版〕』（成文堂・2006年）
- 西田・各論 西田典之『刑法各論〔第6版〕』（弘文堂・2012年）
- 西原・各論 西原春夫『刑法各論〔第2版〕』（筑摩書房・1983年）
- 野村編・各論 野村 稔編『現代法講義刑法各論〔補正版〕』（青林書院・2002年）
- 萩原・各論 萩原 滋『刑法各論〔概要〕〔第3版〕』（成文堂・2009年）
- 林・各論 林幹人『刑法各論〔第2版〕』（東京大学出版会・2008年）
- 平野・概説 平野龍一『刑法概説』（東京大学出版会・1977年）
- 福田・各論 福田平『刑法各論〔第3版増補〕』（有斐閣・2002年）
- 藤木・各論 藤木英雄『刑法講義各論』（弘文堂・1976年）
- 堀口・各論 堀内捷三『刑法各論』（有斐閣・2003年）
- 前田・总論 前田雅英『刑法総論講義〔第6版〕』（東京大学出版会・2015年）
- 前田・各論 前田雅英『刑法各論講義〔第6版〕』（東京大学出版会・2015年）
- 前田等編 前田雅英ほか編『条解刑法〔第2版〕』（弘文堂・2007年）
- 牧野・各論 牧野英一『刑法各論（上）（下）』（有斐閣・1950年・1951年）
- 三原・各論 三原憲三『新版刑法各論』（成文堂・2009年）
- 宮本・大綱 宮本英脩『宮本英脩著作集第3巻（刑法大綱）』（成文堂・1984年）
- 山口・总論 山口 厚『刑法総論〔第2版〕』（有斐閣・2007年）
- 山口・各論 山口 厚『刑法各論〔第2版〕』（有斐閣・2010年）
- 山中・总論 山中敬一『刑法総論〔第3版〕』（成文堂・2015年）
- 山中・各論 山中敬一『刑法各論〔第3版〕』（成文堂・2015年）

#### 四、講座、论文集

- 阿部古稀 『刑事法学の現代的課題—阿部純二先生古稀祝賀論文集』（第一法規・2004年）
- 大野古稀 『刑事法学の潮流と展望—大野眞義先生古稀祝賀』（世界思想社・2000年）
- 展开・各論 芝原邦爾＝堀内捷三＝町野朔＝西田典之編『刑法理論の現代的展開・各論』（日本評論社・1996年）
- 団藤古稀 『団藤重光博士古稀祝賀論文集第1巻～第5巻』（有斐閣・1982年～1985年）
- 平野・諸問題（下） 平野龍一『犯罪論の諸問題（下）各論』（有斐閣・1982年）
- 佐伯＝道垣内 佐伯仁志＝道垣内弘人『刑法と民法の対話』（有斐閣・2001年）
- 中古稀 中山研一ほか編『刑法理論の探求—中刑法理論の検討0 中義勝先生古稀祝賀』（成文堂・1992年）
- 前田等・医事法 前田達明＝稲垣喬＝手嶋豊ほか『医事法』（有斐閣・2000年）三原古稀＝『三原憲三先生古稀祝賀論文集』（成文堂・2002年）
- 百選Ⅰ 『別冊ジュリスト刑法判例百選Ⅰ総論〔第7版〕』（有斐閣・2014年）
- 百選Ⅱ 『別冊ジュリスト刑法判例百選Ⅱ各論〔第7版〕』（有斐閣・2014年）

**レヴィジョン1** 中山研一＝浅田和茂＝松宮孝明『レヴィジョン刑法1 共犯論』（成文堂・1997年）

**レヴィジョン2** 中山研一＝浅田和茂＝松宮孝明『レヴィジョン刑法2 未遂犯論・罪数論』（成文堂・2002年）

**レヴィジョン3** 中山研一＝浅田和茂＝松宮孝明『レヴィジョン刑法3 構成要件・違法性・責任』（成文堂・2009年）



# 判例集的编年对应表 ◀

在本书中，为了尊重原文，也为了遵循日本就判例出处的惯用表示，更为了便于本书读者顺利查找相关判例，并未将明治、大正、昭和、平成这些日本年号改为公历，但同时考虑到中国读者更习惯于公历，在此特不畏累赘列表表示编年对应。值得注意的是，根据日本年号的实际变更时间，明治 45 年仅止于明治 45 年（1912 年）7 月 30 日，大正 15 年仅止于大正 15 年（1926 年）12 月 25 日，昭和 64 年仅止于昭和 64 年（1989 年）1 月 7 日。

大审院刑事判决录 (刑录创刊)	大审院刑事判例集 (改称刑录)	最高裁判所刑事判例集 (改称刑集)	
明治 28 (1895 年) 1 辑	大正 11 (1922 年) 1 卷	昭和 22 (1947 年) 1 卷	昭和 50 (1975 年) 29 卷
29 (1896 年) 2	12 (1923 年) 2	23 (1948 年) 2	51 (1976 年) 30
30 (1897 年) 3	13 (1924 年) 3	24 (1949 年) 3	52 (1977 年) 31
31 (1898 年) 4	14 (1925 年) 4	25 (1950 年) 4	53 (1978 年) 32
32 (1899 年) 5	大正 15	26 (1951 年) 5	54 (1979 年) 33
33 (1900 年) 6	(1926 年) 5	27 (1952 年) 6	55 (1980 年) 34
34 (1901 年) 7	昭和 1	28 (1953 年) 7	56 (1981 年) 35
35 (1902 年) 8	2 (1927 年) 6	29 (1954 年) 8	57 (1982 年) 36
36 (1903 年) 9	3 (1928 年) 7	30 (1955 年) 9	58 (1983 年) 37
37 (1904 年) 10	4 (1929 年) 8	31 (1956 年) 10	59 (1984 年) 38
38 (1905 年) 11	5 (1930 年) 9	32 (1957 年) 11	60 (1985 年) 39
39 (1906 年) 12	6 (1931 年) 10	33 (1958 年) 12	61 (1986 年) 40
40 (1907 年) 13	7 (1932 年) 11	34 (1959 年) 13	62 (1987 年) 41
41 (1908 年) 14	8 (1933 年) 12	35 (1960 年) 14	63 (1988 年) 42
42 (1909 年) 15	9 (1934 年) 13	36 (1961 年) 15	昭和 64
43 (1910 年) 16	10 (1935 年) 14	37 (1962 年) 16	(1989 年) 43
44 (1911 年) 17	11 (1936 年) 15	38 (1963 年) 17	平成 1
明治 45	12 (1937 年) 16	39 (1964 年) 18	2 (1990 年) 44
(1912 年) 18	13 (1938 年) 17	40 (1965 年) 19	3 (1991 年) 45
大正 1	14 (1939 年) 18	41 (1966 年) 20	4 (1992 年) 46
2 (1913 年) 19	15 (1940 年) 19	42 (1967 年) 21	5 (1993 年) 47

续前表

大审院刑事判决录 (刑录创刊)	大审院刑事判例集 (改称刑录)	最高裁判所刑事判例集 (改称刑集)	
3 (1914年) 20	16 (1941年) 20	43 (1968年) 22	6 (1994年) 48
4 (1915年) 21	17 (1942年) 21	44 (1969年) 23	7 (1995年) 49
5 (1916年) 22	18 (1943年) 22	45 (1970年) 24	8 (1996年) 50
6 (1917年) 23	19 (1944年) 23	46 (1971年) 25	9 (1997年) 51
7 (1918年) 24	20 (1945年) 24	47 (1972年) 26	10 (1998年) 52
8 (1919年) 25	21 (1946年) 25	48 (1973年) 27	11 (1999年) 53
9 (1920年) 26	22 (1947年) 26	49 (1974年) 28	12 (2000年) 54
10 (1921年) 27			13 (2001年) 55
			14 (2002年) 56
			15 (2003年) 57
			16 (2004年) 58
			17 (2005年) 59
			18 (2006年) 60
			19 (2007年) 61
			20 (2008年) 62
			21 (2009年) 63
			22 (2010年) 64
			23 (2011年) 65
			24 (2012年) 66
			25 (2013年) 67
			26 (2014年) 68
			27 (2015年) 69

# 目录

## Contents

### 第一部分 绪 论

第一章 “刑法各论”是什么 .....	3
第一节 刑法各论的意义与课题 .....	3
第二节 刑法各论的“体系” .....	5
<b>第二部分 针对个人法益的犯罪（之一）</b> ——针对“生命体”的生命、身体的犯罪	
第二章 “人”的“始期”与“终期” .....	11
第一节 “人”的“始期” .....	11
第二节 “人”的“终期” .....	15
第三节 今后的课题 .....	18
第三章 杀人犯罪 .....	21
第一节 概 述 .....	21
第二节 杀害尊亲属罪（旧第200条） .....	22
第三节 参与自杀、同意杀人 .....	23
第四节 杀人预备罪 .....	28
第四章 伤害犯罪 .....	31
第一节 概 述 .....	31
第二节 伤害罪 .....	31
第三节 伤害致死罪 .....	35
第四节 伤害现场助势罪 .....	36

第五节	同时伤害的特例 .....	36
第六节	暴行罪 .....	38
第七节	准备凶器集合罪、准备凶器聚集罪 .....	39
<b>第五章</b>	<b>过失伤害犯罪 .....</b>	<b>43</b>
第一节	概 述 .....	43
第二节	过失伤害罪、过失致死罪 .....	43
第三节	业务过失致死伤罪 .....	44
第四节	重大过失致死伤罪 .....	45
第五节	危险驾驶致死伤罪 .....	46
第六节	驾驶过失致死伤逃避发现酒精等影响罪 .....	49
第七节	驾驶汽车过失致死伤罪 .....	50
<b>第六章</b>	<b>堕胎犯罪 .....</b>	<b>54</b>
第一节	概 述 .....	54
第二节	具体犯罪类型 .....	57
<b>第七章</b>	<b>遗弃犯罪 .....</b>	<b>61</b>
第一节	概 述 .....	61
第二节	具体犯罪类型 .....	64
<b>第三部分 针对个人法益的犯罪 (之二)</b>		
——针对自由的犯罪		
<b>第八章</b>	<b>逮捕与监禁犯罪</b>	
——针对自由的犯罪 (之一) .....		<b>71</b>
第一节	概 述 .....	71
第二节	逮捕、监禁罪 .....	72
第三节	逮捕、监禁致死伤罪 .....	74
<b>第九章</b>	<b>胁迫犯罪</b>	
——针对自由的犯罪 (之二) .....		<b>76</b>
第一节	概 述 .....	76
第二节	胁迫罪 .....	77
第三节	强要罪 .....	78
第四节	特别法的规定 .....	79

**第十章 略取、诱拐以及买卖人身犯罪**

——针对自由的犯罪（之三）	81
第一节 概 述	81
第二节 拐取未成年人罪	84
第三节 营利目的拐取罪	85
第四节 勒索赎金目的拐取罪、拐取后勒索赎金罪	86
第五节 移送至所在国国外目的拐取罪、买卖人身罪、移送被拐取者等至所在国 国外罪	88
第六节 移交被拐取者罪	89

**第十一章 强制猥亵、奸淫犯罪**

——针对自由的犯罪（之四）	93
第一节 概 述	93
第二节 强制猥亵罪	94
第三节 强奸罪	97
第四节 准强制猥亵罪、准强奸罪	98
第五节 集团强奸罪、准集团强奸罪	99
第六节 亲告罪规定	100
第七节 强制猥亵等致死伤罪	100
第八节 劝诱淫行罪	102

**第十二章 侵犯住宅犯罪**

——针对自由的犯罪（之五）	104
第一节 概 述	104
第二节 侵入住宅罪	108
第三节 不退出罪	111

**第四部分 针对个人法益的犯罪（之三）**

## ——针对人格法益的犯罪

**第十三章 针对秘密的犯罪**

——针对人格法益的犯罪（之一）	119
第一节 概 述	119
第二节 开拆书信罪	119
第三节 泄露秘密罪	120

## 第十四章 针对名誉的犯罪

——针对人格法益的犯罪 (之二)	124
第一节 概 述	124
第二节 毁损名誉罪	126
第三节 事实的证明	128
第四节 其他的正当行为	136
第五节 毁损死者的名誉	137
第六节 侮辱罪	137

## 第五部分 针对个人法益的犯罪 (之四)

——危及经营基础的犯罪

## 第十五章 针对信用、业务的犯罪 141

第一节 概 述	141
第二节 毁损信用罪	142
第三节 妨害业务罪	144
第四节 损坏电子计算机等妨害业务罪	147

## 第六部分 针对个人法益的犯罪 (之五)

——针对财产权的犯罪

## 第十六章 针对财产权的犯罪 (财产犯) 总论 151

第一节 概 述	151
第二节 财产犯的客体	155
第三节 财产罪的保护法益	160

## 第十七章 盗窃犯罪

——针对财产权的犯罪 (之一)	167
第一节 概 述	167
第二节 盗窃罪	168
第三节 侵夺不动产罪	176
第四节 有关自己财物的特例	178
第五节 有关亲属间犯罪的特例	178

## 第十八章 抢劫犯罪

——针对财产权的犯罪 (之二)	183
第一节 概 述	183
第二节 财物抢劫罪	184

第三节	利益抢劫罪 .....	186
第四节	抢劫预备罪 .....	188
第五节	事后抢劫罪 .....	188
第六节	昏醉抢劫罪 .....	194
第七节	抢劫致死伤罪 .....	195
第八节	抢劫强奸罪、抢劫强奸致死罪 .....	197
<b>第十九章 诈骗、恐吓犯罪</b>		
——针对财产权的犯罪（之三） .....		<b>202</b>
第一节	概 述 .....	202
第二节	诈骗罪 .....	205
第三节	计算机诈骗罪 .....	218
第四节	准诈骗罪 .....	219
第五节	恐吓罪 .....	220
<b>第二十章 侵占犯罪</b>		
——针对财产权的犯罪（之四） .....		<b>225</b>
第一节	概 述 .....	225
第二节	侵占委托物罪 .....	227
第三节	业务侵占罪 .....	236
第四节	侵占遗失物等罪 .....	236
第五节	侵占罪的共犯、罪数 .....	237
第六节	有关亲属间犯罪的特例 .....	238
<b>第二十一章 背信犯罪</b>		
——针对财产权的犯罪（之五） .....		<b>241</b>
第一节	概 述 .....	241
第二节	背信罪的本质 .....	242
第三节	背信罪的成立要件 .....	243
第四节	背信与侵占委托物的关系 .....	248
<b>第二十二章 有关盗赃等的犯罪（赃物罪）</b>		
——针对财产权的犯罪（之六） .....		<b>251</b>
第一节	赃物罪的种类与法律性质 .....	251
第二节	赃物罪的本质 .....	252
第三节	赃物罪的主观要件 .....	256
第四节	共犯与罪数 .....	257
第五节	有关亲属间犯罪的特例 .....	258

## 第二十三章 毁弃与隐匿犯罪

——针对财产权的犯罪 (之七) ..... 262

第一节 现行法的结构 ..... 262

第二节 具体犯罪类型 ..... 263

## 第七部分 针对社会法益的犯罪

## 第二十四章 针对社会法益的犯罪概述 ..... 275

第一节 社会法益的含义 ..... 275

第二节 针对社会法益的犯罪的分类 ..... 275

## 第二十五章 针对公共安全的犯罪 (之一)

——公共危险犯概述、骚乱犯罪 ..... 278

第一节 公共危险犯概述 ..... 278

第二节 骚乱犯罪的构成 ..... 279

第三节 骚乱罪 ..... 279

第四节 多众不解散罪 ..... 283

## 第二十六章 针对公共安全的犯罪 (之二)

——放火以及失火犯罪、有关决水以及水利的犯罪 ..... 285

第一节 放火以及失火犯罪概述 ..... 285

第二节 放火犯罪的基本问题 ..... 286

第三节 放火犯罪的具体犯罪类型 ..... 290

第四节 有关决水以及水利的犯罪 ..... 297

## 第二十七章 针对公共安全的犯罪 (之三)

——妨害交通的犯罪 ..... 299

第一节 概 述 ..... 299

第二节 具体犯罪类型 ..... 299

## 第二十八章 针对公众健康的犯罪 ..... 307

第一节 概 述 ..... 307

第二节 有关鸦片烟的犯罪 ..... 307

第三节 有关饮用水的犯罪 ..... 309

## 第二十九章 针对公共信用的犯罪 (之一)

——伪造罪概述、伪造文书犯罪 ..... 313

第一节 概 述 ..... 313



第二节	有关伪造文书犯罪的共通问题 .....	314
第三节	伪造诏书罪、使用伪造的诏书罪、伪造公文书罪、使用伪造的 公文书罪 .....	327
第四节	制作虚假公文书罪、公正证书原本等不实记载罪 .....	328
第五节	伪造私文书罪、使用伪造的公文书罪、制作虚假诊断书罪、使用虚假的 诊断书罪 .....	330
第六节	不正当制作电磁记录罪、提供不正当制作的电磁记录罪 .....	331
<b>第三十章 针对公共信用的犯罪 (之二)</b>		
——其他伪造犯罪 .....		<b>334</b>
第一节	伪造货币犯罪 .....	334
第二节	伪造有价证券犯罪 .....	339
第三节	有关支付用磁卡的电磁记录的犯罪 .....	342
第四节	伪造印章犯罪 .....	345
第五节	有关不正当指令电磁记录的犯罪 .....	348
<b>第三十一章 针对风俗的犯罪 .....</b>		
		<b>350</b>
第一节	概 述 .....	350
第二节	猥亵犯罪 .....	351
第三节	关于赌博以及彩票的犯罪 .....	355
第四节	有关礼拜场所以及坟墓的犯罪 .....	357
<b>第八部分 针对国家法益的犯罪</b>		
<b>第三十二章 针对国家法益的犯罪概述 .....</b>		
		<b>365</b>
第一节	国家法益的含义 .....	365
第二节	针对国家法益的犯罪的分类 .....	366
<b>第三十三章 有关国家的存立与国交的犯罪 .....</b>		
		<b>370</b>
第一节	概 述 .....	370
第二节	有关内乱的犯罪 .....	370
第三节	有关外患的犯罪 .....	373
第四节	有关国交的犯罪 .....	375
<b>第三十四章 妨害执行公务的犯罪 .....</b>		
		<b>378</b>
第一节	概 述 .....	378
第二节	妨害执行公务罪、职务强要罪 .....	379
第三节	其他针对公务的犯罪 .....	384